



天沼小学校 学校運営協議会(CS) からのご案内

天沼小は、コミュニティ・スクールとして地域と共にある学校づくりを進めています。学校運営協議会は教育内容を学校と協議し、学校支援本部はその方針のもと協働活動を推進しています。

学校運営協議会 (CS)では、毎月の「あまぬまだより」の中に「学校運営協議会コーナー」を設けていますが、そこでお知らせしきれなかった事がらについて、ご紹介をいたします。

天沼小の特色ある教育活動って何？

天沼小としての地域と共にある学校づくりの特色として、学校支援本部と連携しながら以下の活動を「天沼小ならではの特色ある教育活動」として実施しています。

その1

キャリア教育

文部科学省では、キャリア教育とは「社会的、職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育」としています。

キャリアとは、人は生涯の中で各年代ごとに様々な役割を果たしますが、天沼小においては、小学校の頃に果たすべき（学習すべき）役割を考え、「不易」の（伝統的に継続していく）教育活動と捉えて、教会通り商店街での「お店番体験」（3年生）、「地域安全マップ作り」、「福祉・ユニバーサルデザイン学習」（4年生）、起業家体験プログラム「天沼会社経営プロジェクト(AKP)」（5年生）、天沼地域の人たちと交流を行う「私たちの天沼」、社会科見学「裁判傍聴」（6年生）などを通じて、児童が「ほんもの」に触れ、自分の将来に対して夢や希望をもち、「生きて行く力と意欲」を育んでいます。



文責：学校運営協議会委員 朝倉紘治

その2

日本の伝統・文化理解教育



将来子どもたちは、日本のみならず世界各地で活躍することになるかもしれません。しかしその時に日本の良さや、日本の伝統や文化を世界の人たちにも伝えられる人であってほしい。そうした願いも込めて、地域の専門指導者の皆様と共に、「茶道」（4年生を除く全学年）、「折紙」（1～2年生）、「書道」（3～6年生）、「華道」（4年生）、「染物」（5年生）など、和の心を学ぶ体験学習を行っています。

また、この学習では他の国が培ってきた文化等も大切

に考えようと、その年々にお招きできるゲストティーチャーによる多様な文化理解学習も実践しています。今年度は、専科の先生とのご縁で、バレリーナの中村祥子さん、作曲家の谷川賢作さん（校歌作曲者）という第一線で活躍されている方々もお招きすることができました。

文責：学校運営協議会委員 井上尚子

その3

読書活動

読書好きになってほしいという願いは、天沼小の開校当時からの学校に関わるこの地域の人々の願いでした。

「お話会」「読み聞かせ」は、地域や保護者の方々が「絵本の会」という勉強会を行い、子どもたちの想像力や知的好奇心を育むために、どのような本がいいの？どのような読み方がいいの？と学び合いながら臨んでいます。また、

- 1、2年生は、日本の昔話を中心に、お話のおもしろさを伝える。
- 3、4年生は、様々な国のお話にふれ、お話の世界の幅を広げる。
- 5、6年生は、テーマ性のあるお話により、豊かな読書活動につなげる。

という各学年のめあてを設けて進めています。

子どもたちは目を輝かせて、集中して聞いてくれます。ぜひご家庭でも本を通じてコミュニケーションをとってもらえるといいなと思っています。



文責：学校運営協議会委員 新井美和

保護者・地域・学校が一体となって取り組むテーマ

学校運営協議会(CS)では、毎年、保護者・地域・学校が協力し合って子どもたちの育成にあたっていきたいと考えており、年度始めに以下の今年度のテーマへの取組を呼びかけています。

今年のテーマは以下の通り！

これからでも遅くはありません。ぜひ声かけをしてみてください。

低学年の目標

しっかりあいさつしよう！

あいさつは日常生活の基本です。
家族相互での声かけをしましょう。

- 例)・へんじ
・あいさつ
・ありがとう
・ごめんなさい

中学年の目標

相手のことを思いやろう！

自分が言われて、されて、嫌なことは、相手にもしない。
相手が喜ぶことは何だろう？と考えられる力持てるように、声かけしましょう。

高学年の目標

社会のできことについて 話し合おう！

社会で起きているできごとを家庭で話し合う機会を持ちましょう。
学力調査の結果を見ても、この機会のある家庭の子どもたちの学力が向上していることが示されています。

社会のことに目を向けられるよう、コミュニケーションをとていきましょう。